

美術作品には、作家の忘れられないできごとや、鮮烈な記憶などがもととなって生み出されたものがあります。

坂本正直は、戦争への2度の召集という過酷な体験から、生涯を通して戦争をテーマとした作品を制作しました。

はしぐちみよこは、制作に行き詰まった時、単身渡ったアフリカでの子どもとのふれあいから、以前取り組んでいた母子を改めてテーマとし、制作を進めます。

松本英一郎は日常の風景を独自の視点で再構成した作品を制作していましたが、闘病中に見えたイメージから、ピンクを基調とした新たなシリーズに着手します。

作品にちりばめられている作家たちの、『記憶の結晶』を感じてください。

## ■展示作品リスト

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	大きさ(cm)	技法
1	坂本 正直	1914～2011	戦死輜重一等兵	1986(昭和61)	116.7×90.9	油彩
2	坂本 正直	1914～2011	馬たちは・・・中国に	1985-86(昭和60-61)	162.0×261.0	油彩
3	坂本 正直	1914～2011	敗戦、終戦－1945年	1979-80(昭和54-55)	162.4×354.2	油彩
4	はしぐち みよこ	1929～	望郷	1971(昭和46)	101.2×151.2	油彩
5	はしぐち みよこ	1929～	赤い壁	1975(昭和50)	130.8×141.3	油彩
6	松本 英一郎	1932～2001	風景	1979(昭和54)	90.9×116.7	油彩
7	松本 英一郎	1932～2001	退屈な風景 No.25(牛)	1972(昭和47)	130.3×162.0	油彩
8	松本 英一郎	1932～2001	さくら・うし 92-3	1992(平成4)	130.3×162.0	油彩